

Vol.
2

ドイツ留学から不思議な縁で山形へ

首席コンサートマスター 犬伏 亜里 (いぬぶし あり)



Q ヴァイオリンを始めたきっかけは？

A 4歳の時に二つ上の兄の真似をしてピアノを始めましたが、その先生が作曲家の方でレッスン室にヴァイオリンも置いてありました。ピアノを習いに行っているのにヴァイオリンの方が気になって、あの楽器をやりたいやりたいと言い続け、5歳になった時に先生と母が根負けして、ヴァイオリンも始めることになりました。



Q 山響に入団した経緯を教えてください。

A 日本で音大を卒業してからドイツのケルン音大に留学したのですが、そこに村川千秋先生のお嬢さまも留学していて親しくなりました。それがきっかけで、学校を出たあとヨーロッパに残るか日本に戻るか悩んでいた時に村川先生から山形に来ないかというお誘いを受け、山響に入ることになりました。東京出身の私にはそれまで山形との関わりはなかったのですが、後になって私の祖父が旧制中学時代を山形で過ごしていたことを知り、なにか不思議な縁があったのかなと思います。

Q 好きなヴァイオリニストは？

A ひとりだけ挙げるなら、グリュミオーです。この曲はこの人の演奏が好き、というのは他にもたくさんありますが、音楽の道に進もうと決める前から彼の音が大好きで、それはずっと変わらないようです。生で聴くチャンスがなかったのが本当に残念です。

Q 好きな曲は？

A シューマン、ブラームスが好きで、それは演奏するのも聴くのもどちらもですし、ヴァイオリンやオーケストラの曲だけでなくピアノ曲なども好きです。フランス物も好きなのですが、自分が演奏するとどうもしっくりきません。

Q 休みの日は何をしていますか？

A これといった趣味はないのですが車を運転するのは好きなので、ちょっと走って温泉に行ったり、おいしいものを食べに行ったり、産直めぐりをしたり。基本的にはインドア派なので、買いだめした本を読みながらごろごろしてる人が多いです。

Q 最近はまっていることはありますか？

A 全然弾かなくなっていたピアノを、この春ぐらいからまた弾くようになりました。最初はあまりに弾けなくなっていてがっかりしましたが、気分転換にもなりますし、少しずつリハビリをしています。

あと、もともと料理は好きなので、最近は漬物やパン作りにも挑戦してみました。

Q 職業病だと思うことはありますか？

A 肩凝りとドライアイが辛いです。

Q 山響で今後やってみたいことはありますか？

A 山響は、山形の街の規模もあってお客さまとの距離感が近いのが特徴だと思います。また山形には音楽を勉強している学生さん達もいたり音楽活動が活発です。これまで以上に音楽と山響を身近に感じてもらえるように、室内楽などにももっと取り組みたいです。あと、小さな子供たちが、なにか楽器をやってみてほしい！と思うきっかけになるような活動もしていきたいです。

Q 最後に、お客様へのメッセージをお願いします。

A 山響に入って、来年には20年になります。みなさまから、コンサート聴いたよ、楽しかった、良かったという声をかけていただくのはとても嬉しく励みになりますし、反対に、今日の演奏はちょっとね、などの厳しいご意見もとても貴重です。ありがとうございます。コンサート後、また街中でも、見かけたらどんでん声をかけてください。山形の自慢の県産品となるように頑張る活動を続けていきますので、これからも暖かくそして厳しく見守ってください。よろしくお願いします。

次回は、足達 祥治さんです